

目次

分子雲と相互作用する超新星残骸 G 109.1-1.0	立松 健一	220
西独ボン大学滞在記	吉野 泰造	223
天文学最前線……SS 433 の高温ジェット・標準アクリンションモデルは無敵か・ミリ波で見つかった太陽の“極冠”・S 140 の双極分子流.....		228
教育系大学における天文教育の現状と未来 (連載第5回) ——福島大学教育学部での天文学——	大木 俊夫	230
光学器械を使う人のために——第8回 非球面レンズの応用——	吉田 正太郎	235
日本天文学会昭和62年度春季年会記事		238
学会だより		246
お知らせ		234, 248
賛助会員名簿		248
8月の天文暦		249
天文学 定数最前線 (8) 0等級?		250

——表紙写真説明——

図 4a (表紙の上の図)

野辺山の 45 m 鏡で得られた、視線速度 -51 km/s から -49 km/s の範囲の CO 強度を擬似カラー表示であらわした。白線はグレゴリーとファールマンによって得られた X 線でみた G 109.1-1.0 の様子。

図 4b (表紙の下の図)

図 4a と同じだが、視線速度 -49 km/s から -47 km/s の範囲の CO 強度を示す。

(p. 220 立松氏記事参照)

宇宙の認識へのアプローチ

基礎天文学

竹内峯・上杉明著/A5判 192ページ/定価 1900円
 大学教育系・理科系課程テキストとして登場/——
 内容は観測、天球と時、太陽、太陽系 I・II、恒星 I・II、星間物質、銀河、宇宙の10章。簡潔なうちにも書名の如く要点はもらさず、最新の研究成果をも収録した。講義する先生のカラーも盛り込める配慮もされており、学生には天文学で使われる単位、量、物理定数など基本数値表があり確認に好都合。ゼミにも推薦。各章末に演習問題付。

日本天文学会 編

流星観測用星図

—2000年分点—

1) 流星経路を直線で表示できるような中心投影法を採用。2) 1枚の星図に収める範囲を狭くし、南天も含めて全天を32枚に収録。3) 隣の星図との重なりを多くとり、また隣接する図のガイドナンバーを付した。4) 星座境界線を省略し、赤経・赤緯線は15度おきとした。5) 輻射点があるべく星図の中心にくるようにした。6) 星は5.5等星までを表示しコンピュータで作図した。7) 観測法も付した。

A4判本文16ページ星図32枚/定価1500円

東京都新宿区三栄町8
電話 03 (359) 7371

恒星社厚生閣

バックナンバーのお知らせ

星の手帖

 季刊天文誌

編集委員=小尾信弥・古在由秀・藤井 旭・村山定男

VOL-1 480円品切 特集現代の宇宙論	VOL-9 550円 特集自作望遠鏡
VOL-2 480円品切 特集銀河系	VOL-10 550円 特集天体基礎知識
VOL-3 480円 特集天文学者	VOL-11 550円 特集オリオン座
VOL-4 480円 特集太陽系	VOL-12 550円 特集大口径反射望遠鏡
VOL-5 480円 特集天体写真	VOL-13 550円 特集入門天体写真
VOL-6 550円 特集日本の天文学者	VOL-14 550円 特集新星
VOL-7 550円 特集小型天体望遠鏡	VOL-15 550円 特集太陽
VOL-8 550円 特集天文学最前線	

送料250円

VOL 1・2 品切れになり再版の予定ございません。

●残部僅少ですので、直接本社へ送料・定価分の切手同封の上お申し込み下さい。

河出書房新社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2
TEL03-404-1201 振替東京0-10802